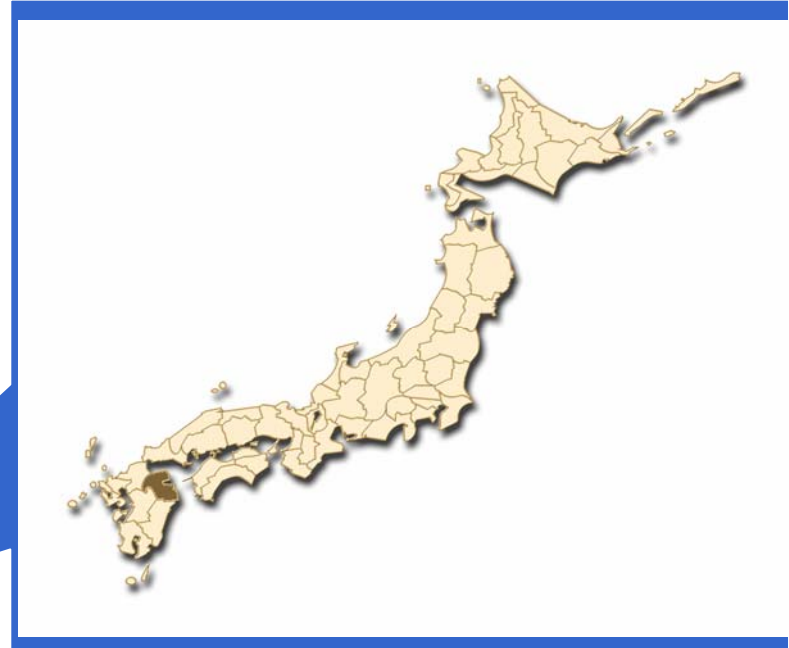
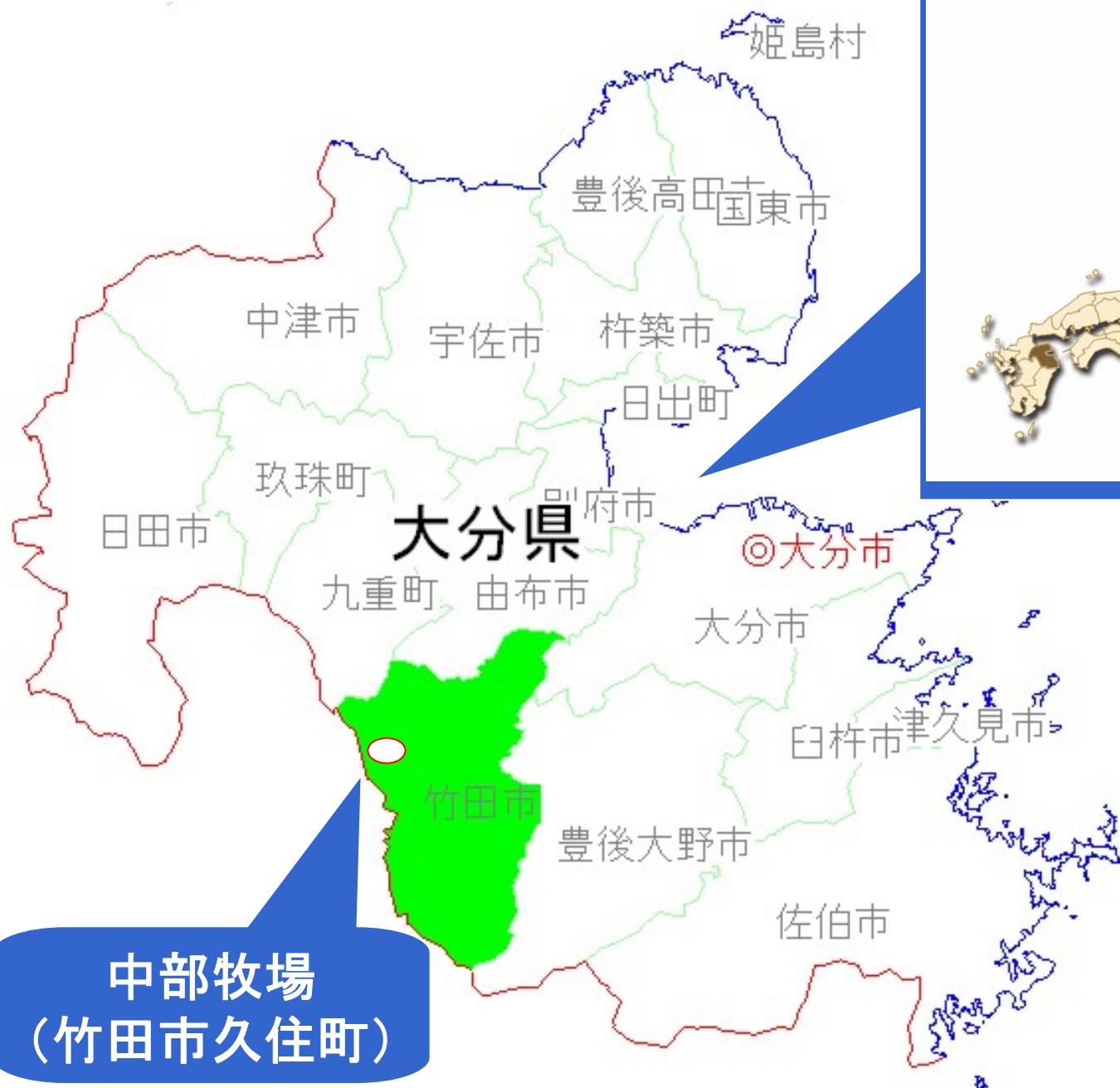


# 共同利用牧場を核とした肉用牛 の増頭と地域農業の振興

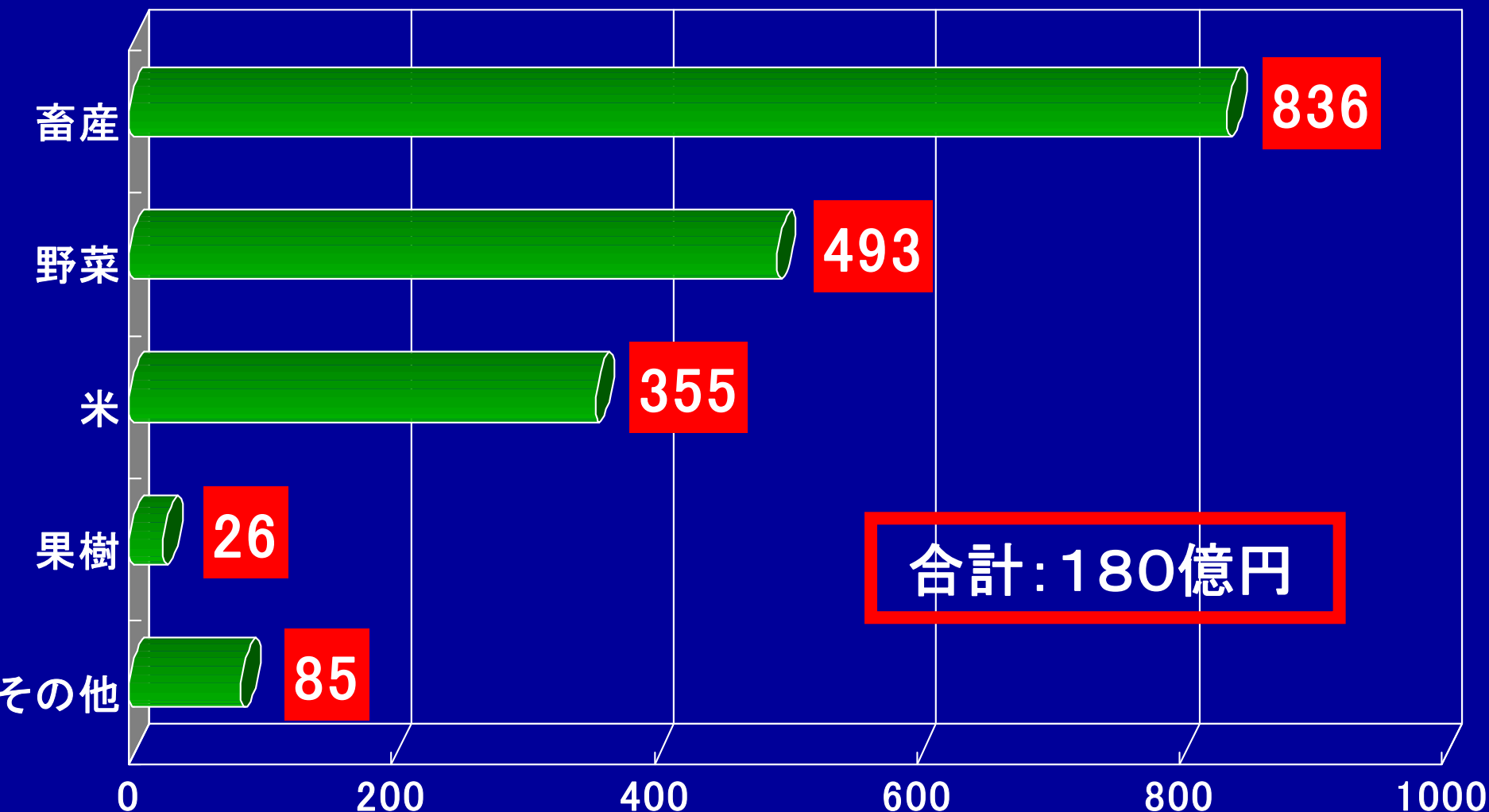
大分県竹田市久住町大字白丹  
中部牧場 代表 木崎 征生  
(発表者; 足達 保之)



中部牧場  
(竹田市久住町)

大分県

# 竹田市における作物別農業産出額

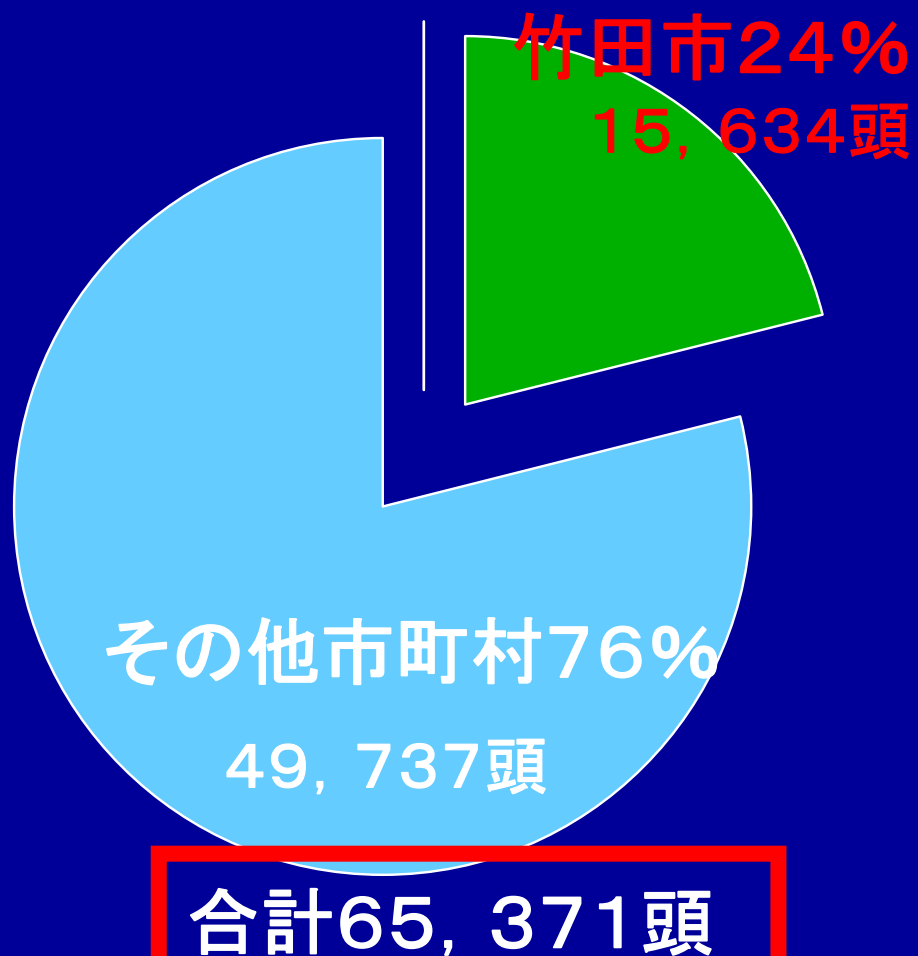


農業産出額(千万円) 出典; 第53次大分県農林水産統計年報

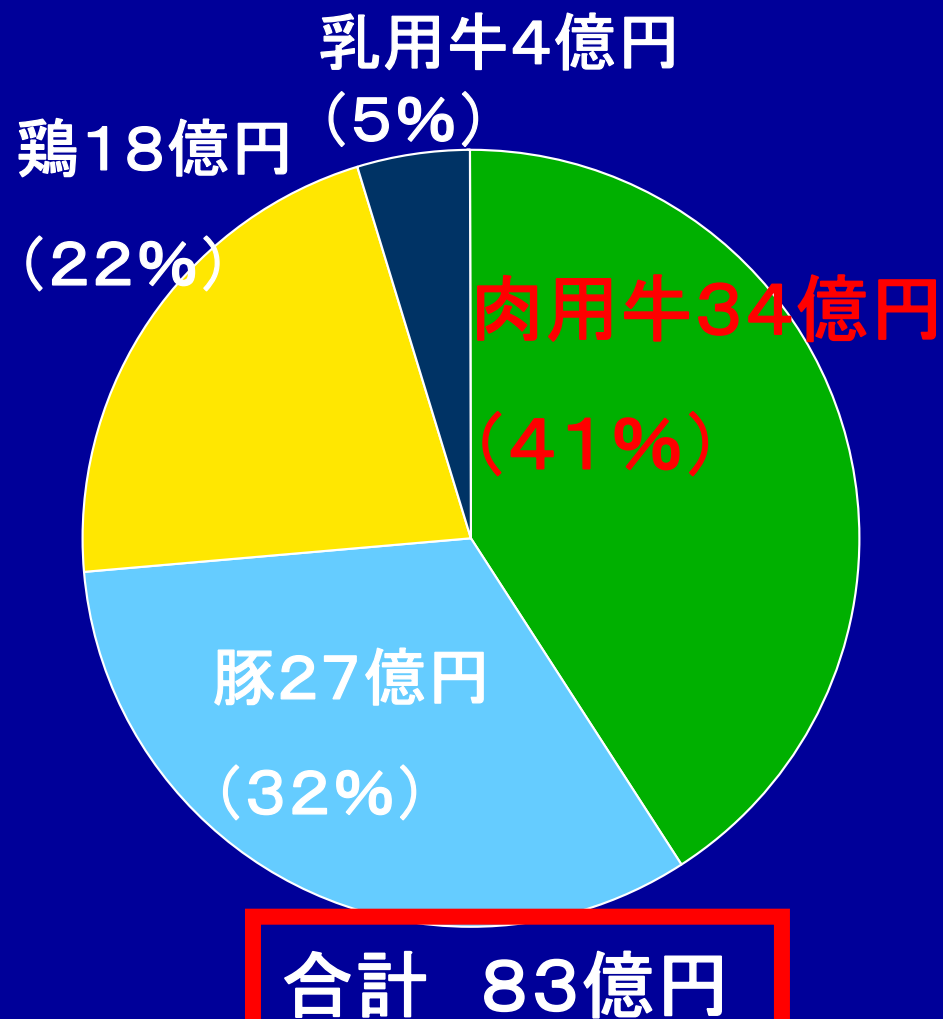
# 竹田市の肉用牛の情勢(平成20年)

全県に占める竹田市の

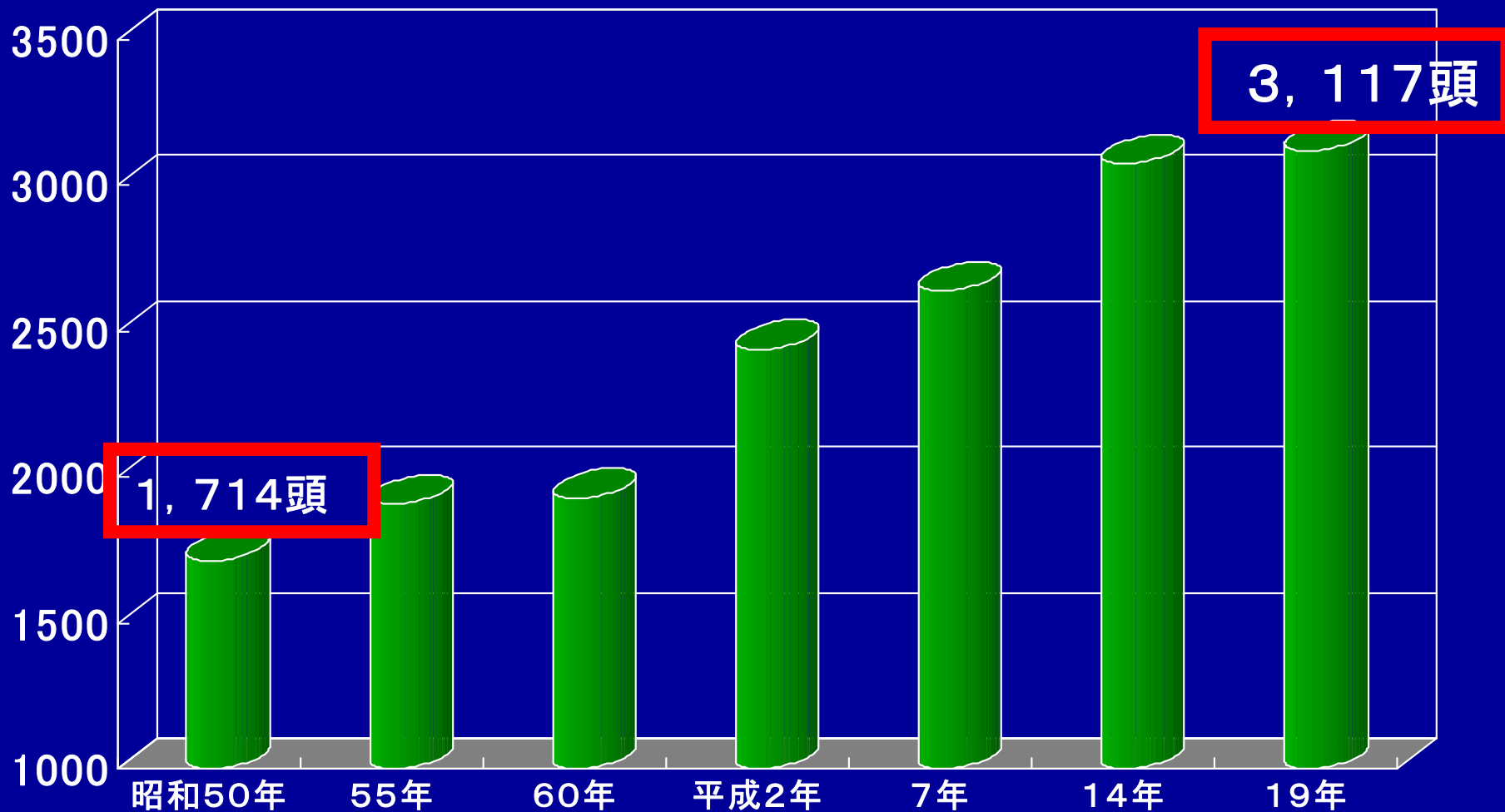
飼養頭数割合



竹田市の畜種別産出額割合



# 竹田市久住町における 繁殖用成雌牛飼養頭数の推移



# 中部牧場におけるこれまでのあゆみ

- 近代・・・入会地の利用  
里山放牧、野草地利用
- 昭和52～60年・・・久住飯田広域農業開発事業  
南部区域の着手  
(採草放牧兼用草地の造成、幹線道路整備)  
(農機具庫、乾草庫、草地飼料作物収穫調製用機械導入)
- 昭和58～63年・・・久住飯田広域農業開発事業  
竹田直入区域の着手  
(採草専用草地の造成整備)
- 平成15年～・・・草地林地一体的利用総合整備事業の着手(草地の更新等)



# 中部牧場の組織体制

中部牧野組合(70戸)

草地利用部; 中部牧場  
43戸うち、畜産農家15戸

- ・牧野維持管理
- ・放牧預託牛管理
- ・機械施設維持管理
- ・中山間地等直接  
支払制度対応

農林部(27戸)  
うち、畜産農家0戸

- ・山林の維持管理
- ・グライダー基地、ペ  
ンション等賃借地の  
管理等

# 經營土地面積

単位;ha

区分	採草専用	放牧専用	採草放 牧兼用	計
牧草地	44	20	0	64
野草地	15	43	0	58
計	59	63	0	122



# 主要な機械・施設の所有状況

区 分		台 数 等
機 械	トラクター	46ps(昭和53年式)1台、66ps(昭和54年式)1台、80ps1台、90ps1台
	収穫用作業機	ディスクモア2台、モアコンディショナー1台、テッターレーキ4台、ヘイバーラー1台、ロールバー1台、ラッピングマシーン1台、ロールグラブ1台
	その他	ブロードキャスター1台
施 設		農機具庫1棟:170m <sup>2</sup> 、乾草庫1棟:123m <sup>2</sup> 、 看視舎(室)19m <sup>2</sup> は農機具庫に併設

# 機械の維持管理を徹底しコスト低減



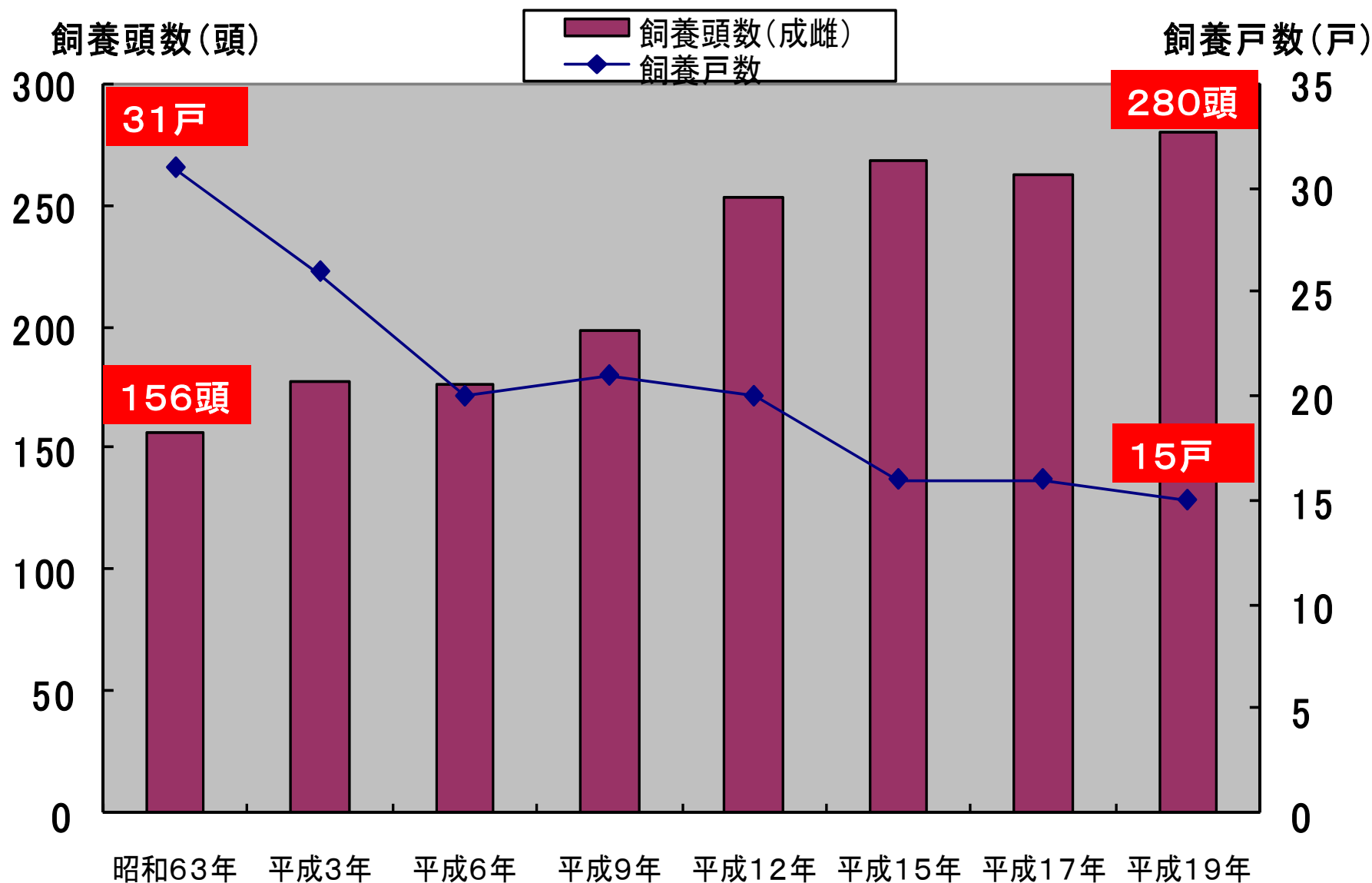
昭和53年式及び昭和54年式の  
トラクターを大切に維持！！

# 組合員の家畜飼養状況

(平成19年2月1日現在)

畜 種	成雌牛	育成牛	子 牛	計
肉用牛	280	41	211	532
1戸当たり 平均	18. 7	2. 7	14. 1	35. 5

# 中部牧場の飼養頭数・戸数の推移



# 組合員の肉用牛増頭の推移

単位：頭

区分	昭和63年 ①	平成8年	平成19年 ②	伸び率 ②／①(%)
現存組合員 (15戸)	102	169	280	275
飼養中止 組合員	54	30	0	—
合計	156	199	280	180

# 労働力

- ・基本的には、畜産農家(15戸)15人全員がオペレーターとして出役する。

※年間 延べ180日程度の出役

- ・放牧看視人として、常に1名を雇用している。

※放牧期間中、年間235日程度



私が、放牧牛を1日2回  
観察しています。

牛の状態は把握していますよ。

やっぱり、女性が1番  
じゃ。



# 草地利用部(中部牧場)の活動



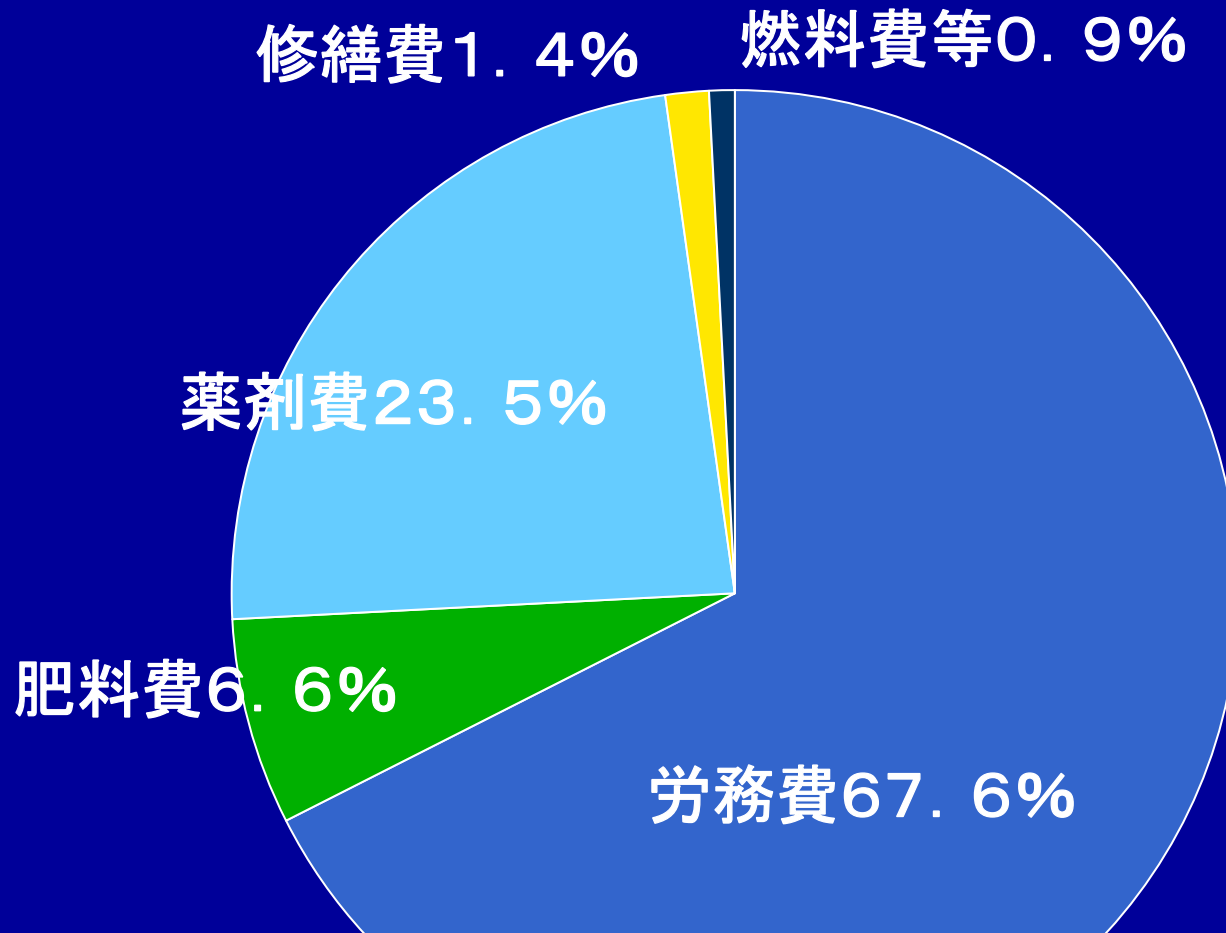


# 放牧実績

区分	面積 (ha)	牧区 数	入牧日	退牧日	延べ 頭数
出品 牧区	30	3	4月25日	11月30日	9,983
他牧 区	33	4	6月6日	12月15日	5,198
計	63	7	—	—	15,181

※放牧預託料 1頭1日当たり100円

# 放牧に要した直接的経費



放牧牛1頭1日あたりに要した直接経費は91.6円  
TDN1kgあたりでは30.4円



直径 100 cmのロールベール



ラッピングにより長期保存可能

乾草を圃場で直接荷渡し

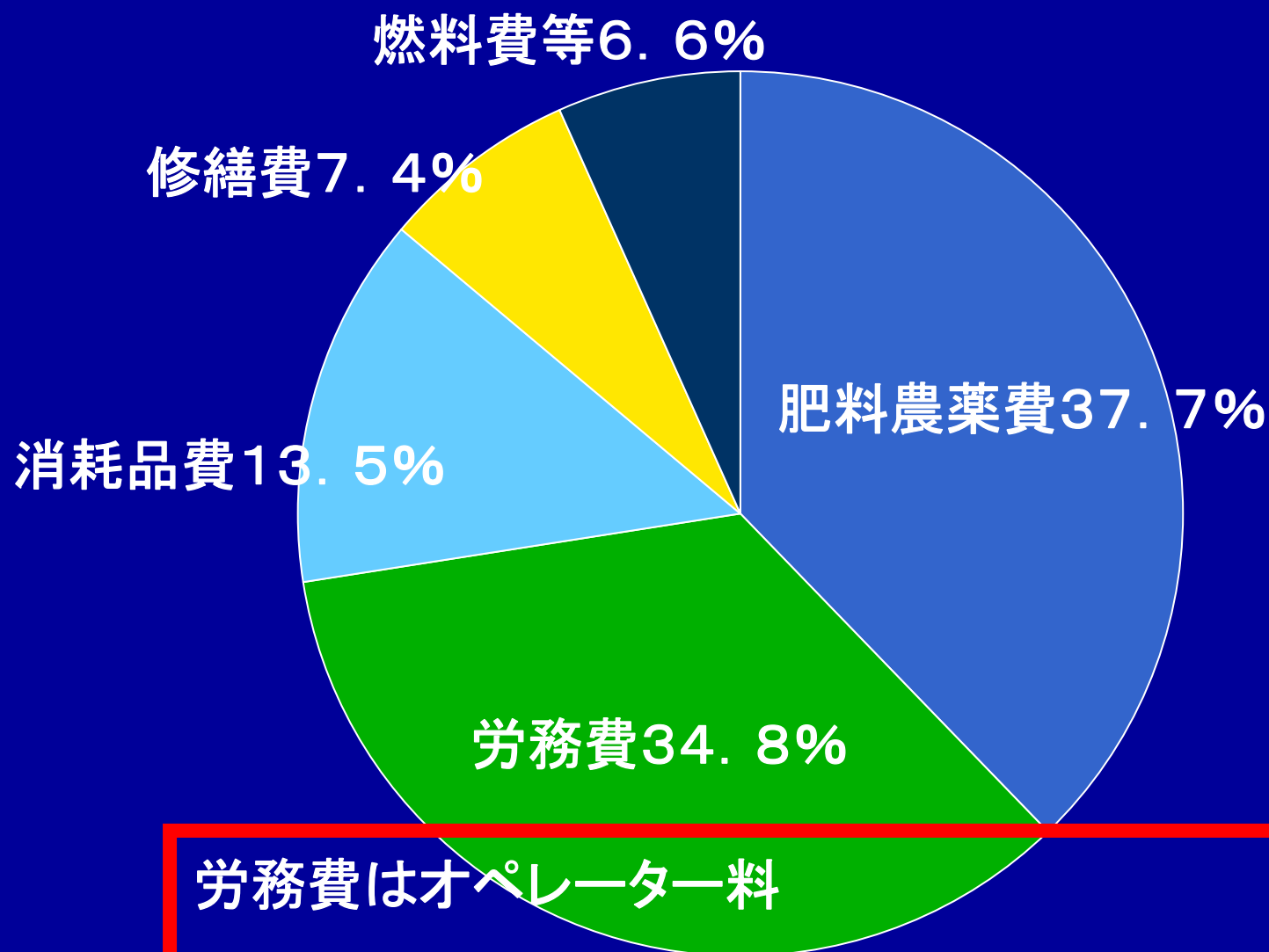


# 牧乾草、野乾草の料金

区分	員内外別	牧乾草		野乾草
		1 番 草	2, 3 番 草	
ロール	員内	2, 700	2, 400	—
	員外	4, 200	4, 000	—
タイト (コンパクト)	員内	450	400	200
	員外	700	600	—

注：販売料金はいずれも圃場渡し of 価格

# 乾草生産に要した直接的経費



労務費はオペレーター料

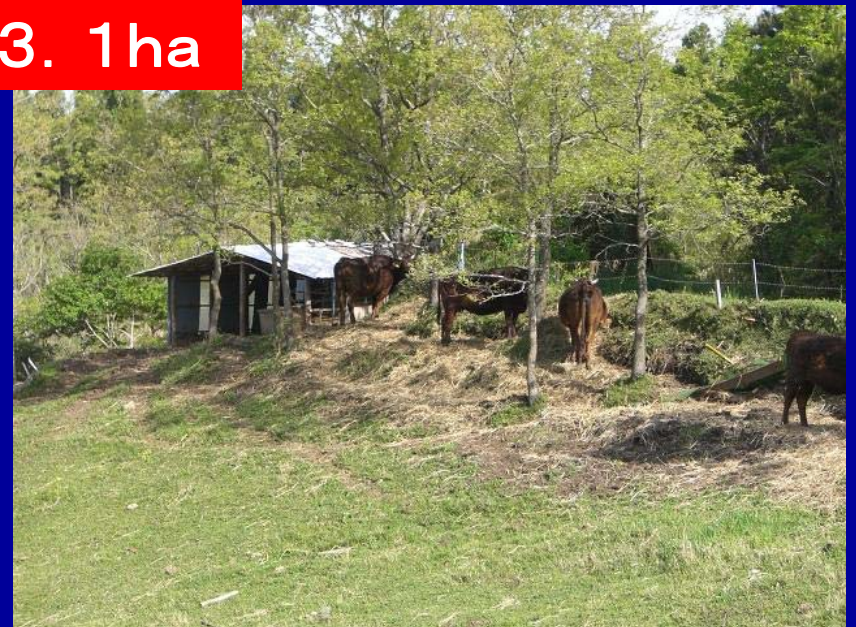
TDN1kg当たり生産費 32.8円(直接的経費)





## 里山放牧利用施設(組合員個々の施設)

8カ所 13.1ha







## 水田放牧・放飼等の状況

10カ所 4.4ha





# 久住町における共同利用牧場の活用

## — 中部牧場 —

高い

標高

低い

共同利用牧場(採草地・放牧地)

入会牧野  
共同利用牧場

里山放牧地



水田・畑地放牧地  
クヌギ林・水田跡地



簡易牛舎  
(自宅)

椎茸

水田・ハウス(トマト)



# 複合経営部門 (トマト)

6戸

ハウスにより栽培





# 椎茸の 栽培状況



5戸

大分県

一村一品の椎茸



# 複合経営における農業産出額等の伸び率

作目等	昭和63年 ①	平成8年	平成19年 ②	伸び率 ②／① (%)
子牛販売 額	25,800	39,245	91,519	355
トマト販売 額	19,362	37,827	42,724	221
椎茸産出 額	10,072	9,690	7,629	76
米産出額	23,418	29,354	29,211	125
計	78,652	116,116	171,083	218
水稻面積	17.2ha	19.1ha	25.0	145

# 今後の取り組み

牧場の一層の機能強化、生産性の向上

- 年次的に計画的な草地更新
- 機械化体系の見直し
- 放牧頭数の拡大
- 将来の牧場後継者の育成
- 草原の維持・景観保持、国土保全





ご静聴ありがとうございました。